

ハガイ書

第一章

「ダリヨス王の二年六月、その月の一日に、主の言葉が預言者ハガイによつて、シャルテルの子、ユダの総督ゼルバベル、およびヨザダクの子、大祭司ヨシユアに臨んだ、三万軍の主はこう言われる、この民は、主の家を再び建てる時は、まだこないと言っている。三そこで、主の言葉はまた預言者ハガイに臨んだ、主の家はこのように荒れはてているのに、あなたがたは、みずから板で張った家に住んでいる時であろうか。五それで今、万軍の主はこう言われる、あなたがたは自分のなすべきことをよく考えるがよい。六あなたがたは多くまいても、取入れは少なく、食べても、飽きることはない。飲んで、満たされない。着ても、暖まらない。賃銀を得ても、これを破れた袋に入れていようなものである。七万軍の主はこう言われる、あなたがたは、自分のなすべきことを考えるがよい。八山に登り、木を持ってきて主の家を建てよ。そうすればわたしはこれを喜び、かつ栄光のうちに現れると主は言われる。九あなたがたは多くを望んだが、見よ、それは少なかった。あなたがたが家に持ってきたとき、わたしはそれを吹き払った。これ

は何ゆえであるかと、万軍の主は言われる。これはわたしの家が荒れはてているのに、あなたがたは、おのの自分の家の事だけに、忙しくしている。二それゆえ、あなたがたの上の天は露をさし止め、地はその産物をさし止めた。三また、わたしは地にも、山にも、穀物にも、新しい酒にも、油にも、地に生じるものにも、人間にも、家畜にも、手で作るすべての作物にも、ひでりを呼び寄せた。四

三そこで、シャルテルの子ゼルバベルとヨザダクの子、大祭司ヨシユアおよび残りのすべての民は、その神、主の声と、その神、主のつかわされた預言者ハガイの言葉とに聞きしたが、い、そして民は、主の前に恐れかしこんだ。三時に、主の使者ハガイは主の命令により、民に告げて言った、「わたしはあなたがたと共にいると主は言われる。四そして主は、シャルテルの子、ユダの総督ゼルバベルの心と、ヨザダクの子、大祭司ヨシユアの心、および残りのすべての民の心を、振り動かされたので、彼らは来て、その神、万軍の主の家の作業にとりかかった。五これは六月二十四日のことであつた。

第二章

「ダリヨス王の二年の七月二十一日に、主の言葉が預言者ハガイに臨んだ、三シャルテルの子、ユダの総督ゼルバベルと、ヨザダクの子、大祭司ヨシユア、および残りのすべての民に告げて言え、三あなたがた残りの者のうち、以前の栄光に輝く主の家を見

た者はだれか。あなたがたは今、この状態をどう思うか。これはあなたがたの目には、無にひとしいではないか。主は言われる、ゼルバベルよ、勇気を出せ。ヨザダクの子、大祭司ヨシユアよ、勇気を出せ。主は言われる。この地のすべての民よ、勇気を出せ。働き。わたしはあなたがたと共にいると、万軍の主は言われる。五これはあなたがたがエジプトから出た時、わたしがあなたがたに、約束した言葉である。わたしの霊が、あなたがたのうちに宿っている。恐れるな。六万軍の主はこう言われる、しばらくして、いま一度、わたしは天と、地と、海と、かわいた地とを震う。七わたしはまた万国民を震う。万国民の財宝は、はいつて来て、わたしは栄光をこの家に満たすと、万軍の主は言われる。八銀はわたしのもの、金もわたしのものであると、万軍の主は言われる。九主の家の後の栄光は、前の栄光よりも大きいと、万軍の主は言われる。わたしはこの所に繁栄を与えると、万軍の主は言われる。』

一〇ダリヨスの二年の九月二十四日に、主の言葉が預言者ハガイに臨んだ、一二万軍の主はこう言われる、律法について祭司たちに尋ねて言え、二三人がその衣服のすそで聖なる肉を運んで行き、そのすそがもし、パンまたはあつもの、または酒、または油、またはどんな食物にでもさわったなら、それらは聖なるものとなるか』と。祭司たちは「ならない」と答えた。二三ハガイはまた言っ

た、「もし、死体によって汚れた人が、これらの一つにさわったなら、それは汚れるか」。祭司たちは「汚れる」と答えた。二四そこで、ハガイは言った、「主は言われる、この民も、この国も、わたしの前では、そのようである。またその手のわざもそのようである。その所で彼らのささげるものは、汚れたものである。二五今、あなたがたはこの日から、後の事を思うがよい。主の宮で石の上に石が積み重ねなかつた前、あなたがたは、どんなであつたか。二六あの時には、二十桁の麦の積まれる所に行つたが、わずかに十桁を得、また五十桶をくもうとして、酒ぶねに行つたが、二十桶を得たのみであつた。七わたしは立ち枯れと、腐り穂と、ひょうをもつてあなたがたと、あなたがたのすべての手のわざを撃つた。しかし、あなたがたは、わたしに帰らなかつたと主は言われる。八あなたがたはこの日より後、すなわち、九月二十四日より事を思うがよい。また主の宮の基をすえた日から後の事を心にとめるがよい。九種はなお、納屋にあるか。ぶどうの木、いちじくの木、ざくろの木、オリブの木もまだ実を結ばない。しかし、わたしはこの日から、あなたがたに恵みを与える。』

一〇この月の二十四日に、主の言葉がふたたびハガイに臨んだ、三一ユダの総督ゼルバベルに告げて言え、わたしは天と地を震う。三二わたしは国々の王位を倒し、異邦の国々の力を滅ぼし、また戦車、およびこれに乗る者を

